

平成19年度予算

「暮らしやすさ日本一」の山梨づくりに向けて

本年度の当初予算は、骨格予算として編成していました。このため、この六月補正予算が、横内県政としての新たな施策が盛り込まれた初めての予算となります。

「暮らしやすさ日本一」の山梨づくりを推進していくために、新たな県政運営の基本指針として策定する「行動計画」の基本的な考え方に基づき、七つの項目に沿って編成しました。

7つの「やまなし」の実現

- 1「変える・やまなし」の実現
- 2「力みなぎる・やまなし」の実現
- 3「やすらぎ・やまなし」の実現
- 4「はぐくむ・やまなし」の実現
- 5「さわやか・やまなし」の実現
- 6「つどう・やまなし」の実現
- 7「むすぶ・やまなし」の実現

六月補正予算の概要

六月議会において、二百一十億円の補正予算が成立しました。これにより本県の予算は、当初予算と合わせ四千二百八十六億円の規模となります。

六月補正予算では特に、本県経済の活性化につながるよう、産業の振興と中心市街地の活性化対策に力を入れています。

また、医師確保などの医療対策、乳幼児医療費の窓口無料化に向けた対応など子育て環境の充実、高速道路網などの社会基盤整備の促進や環境保全対策、教育環境の充実などについても積極的に取り組んでいきます。

本年度の財政状況

歳入面では、県税収入は三位一体改革に伴う税源移譲などにより、個人県民税の増収が見込まれるなど増加の見込みであるものの、国庫補助負担金や地方交付税が減少する見込みとなっています。

一方、歳出面では、退職手当が増えたことに伴う人件費や県債の償還の

ための公債費が増加しています。

このように、歳入・歳出ともに引き続き厳しい状況となっています。

最小限の予算で最大限の効果を

このため県では当初予算段階からシーリングの設定や事務事業の見直しなどによる歳出削減に努めてきま

した。六月補正予算でも事業内容や実施方法に創意工夫をこらし、最小限の予算で最大限の効果をあげることに留意しました。

また、国、地方を通じて大変厳しい財政状況にある中、創意工夫をこらし挑戦する県政、簡素でスピーディーな県政、県民に開かれ、県民とともに創る県政などの改革を

実行していくためには、行政サービスの向上や県財政の改革などを計画的に推進していく必要があることから、新しい行政改革大綱の策定作業を進めています。

今後も「暮らしやすさ日本一」の実現に向けて、県民の皆さんが豊かさを実感できるよう施策の速やかな実行に努めていきます。

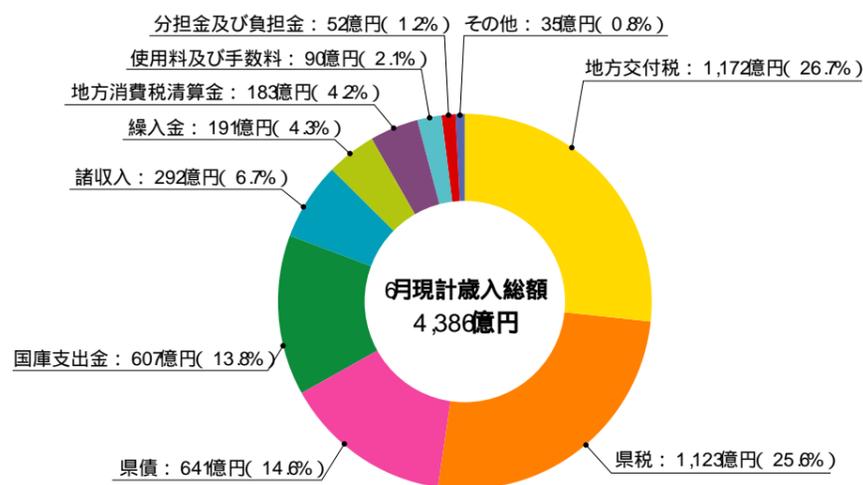
県債残高について

通常の県債の残高は、前年度と比べて約五十七億円減ることが見込まれます。

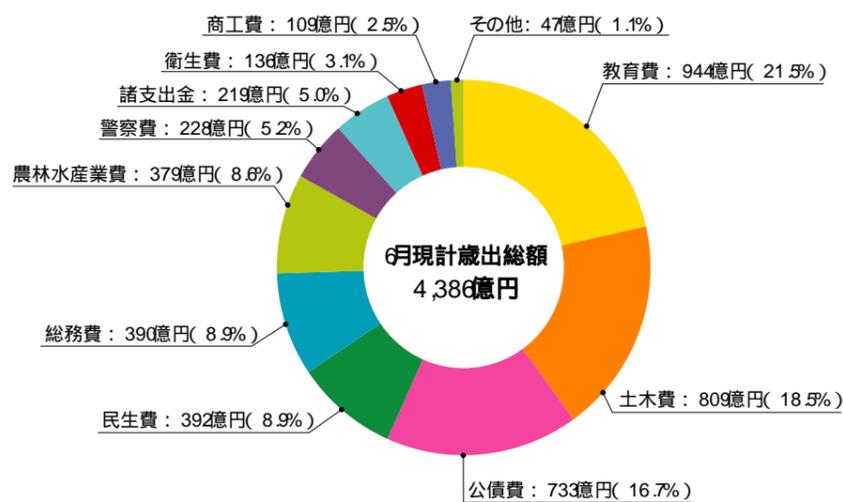
県債残高全体については、国の交付税原資の不足分の一部を地方が県債として借り入れる実質交付税である臨時財政対策債の伸びなどにより増加することが見込まれていますが、臨時財政対策債等は償還時に国が元利償還金の全額を交付税で補てんするため、実質的な負担にはなりません。

県債残高のうち、五十五・七％が、後年度に交付税で補てんされることから、県の実質的な負担は半分以下となっています。

一般会計歳入



一般会計歳出



県債残高(一般会計)



「暮らしやすさ日本一」の県づくりに 向けた「7つの『やまなし』の実現」

「変える・やまなし」の実現

ふるさとの明日をみつめ、おそれず、ひるまず、大胆に改革します。国からの押し付けや、国に任せたまの施策ではなく、自ら考え、自ら決定し、自ら行動する行政改革を行います。

山梨県経済財政会議開催費 3,341千円
本県の経済政策や行政運営等について審議を行うため、会議を開催します。

やまなし女性の知恵委員会開催費 1,271千円
女性の知恵や感性を県政へ反映させるため、委員会を開催します。



女性ならではのアイデアを県政に反映

「はぐくむ・やまなし」の実現

子どもは未来からの預かりものです。人づくりを県政の基本に据え、一人ひとりの個性を大事にしながら、ふるさとを愛し、世界に通じる人づくりを進めます。教員の資質向上に取り組み、「安心と信頼」の学校教育を実現します。

小中学校適正規模化支援事業費補助金 2,000千円
児童生徒の望ましい教育環境を整えるため、学校の適正規模について検討を行う市町村に対し助成します。

いじめ・不登校対策事業費 3,613千円
心の相談員を小学校に派遣するなど、いじめや不登校をなくし、すべての子どもがいきいきと登校できる学校づくりを推進します。

ミュージアム甲斐・ネットワーク事業費 4,284千円
美術コレクション貸借の促進や県立美術館巡回展の実施など、県内の美術館・博物館が連携し、県民の鑑賞・学習機会の充実を図るとともに、県内外からのリピーターを増やします。



小学校30人学級

「力みなぎる・やまなし」の実現

「力みなぎる・やまなし」を創るため、トップセールスにより、山梨の良さを全国に情報発信していきます。農林業から先端産業まで、産業の振興を図り雇用を創出します。山梨が誇る地場産品や農産物を「やまなしブランド」として確立し、山梨の経済に活気とエネルギーを吹き込みます。

やまなしブランド戦略推進費 9,404千円
本県のブランドイメージを高めていく方策や推進体制を構築し、戦略的な情報発信を行います。

やまなしブランド推進事業費 21,800千円
やまなしブランドの確立を図るため、地場中小企業者等が取り組む産地ブランドの形成や産地のイメージアップ、販路開拓事業を支援します。

ワイン産地確立推進事業費 18,829千円
世界に発信するワイン産地の確立を図るため、県産ワインの高品質化に向けた取り組みを進めます。

担い手育成確保総合対策費 9,524千円
農業大学校と新たに設置する県就農支援センターを中心として、総合的な担い手育成確保対策を推進します。

鳥獣害防止対策総合実践事業費 248,209千円
野生動物による農作物被害の総合的な防止対策を推進します。

宝石美術専門学校移転整備事業費 債務負担行為 819,669千円
教育環境の充実と中心市街地の活性化を図るため、甲府紅梅地区再開発ビルに移転整備します。

商工業振興資金貸付金 333,334千円
観光の振興を図るとともに、零細企業への資金供給の円滑化を図るため、40億円の新規融資制度を創設します。

「さわやか・やまなし」の実現

日本一きれいで豊富なやまなしの水と緑と景観を守ります。徹底したごみの減量化、資源化により循環型社会のシステム構築を図ります。

不法投棄等未然防止対策推進事業費 2,126千円
周辺都県等と連携した広域的な不法投棄対策を推進するため、未然防止支援システムを導入します。

希少野生動植物保護事業費 2,091千円
生物の多様性が確保された良好な自然環境を保全するため、希少野生動植物種に指定された個体等を保護します。



不法投棄されたタイヤの撤去

産業集積促進助成金 450,000千円
産業集積の促進及び雇用の創出を図るため、県内に立地して事業を開始した製造業者等に対し、助成金を交付します。

やまなし科学技術基本計画策定費 473千円
科学技術を生かした豊かで活力ある地域づくりを推進するため、基本計画を策定します。

県産材マーケット開拓総合対策事業費 5,933千円
県産材の需要拡大を図るため、マーケットを拡大するとともに、安定供給システムを構築します。



国産ワインコンクール審査会



県立農業大学校 新一年生の実習



企業の進出を待つ工業団地



適切に管理された森林

「つどう・やまなし」の実現

県内外の人々が安心して、つどうことができる癒し日本一の県をつくりたい。山梨は水と緑の宝庫です。温泉、果物、ワインなど「やまなしブランド」を活かし、癒しに満ちた「暮らし先進県」を目指します。

観光トップセールス事業費 5,980千円
本県を訪れる外国人旅行者の増加を図るため、東アジア地域などにおいて、知事が先頭に立った誘客宣伝活動を実施します。

富士の国やまなし館常設販売コーナー整備事業費 4,823千円
観光客の一層の誘致とやまなしブランドの浸透を図るため、都内情報発信拠点「富士の国 やまなし館」に常設販売コーナーを整備し情報発信機能を強化します。

やまなしライフ推進事業費 5,640千円
都市住民と農村の持続的な交流を進めるとともに、定住を促進するための取り組みを推進します。



「富士の国 やまなし館」販売コーナー

「やすらぎ・やまなし」の実現

県民の安全・安心な生活を守ります。人と人のつながりが希薄になり、安全性が損なわれはじめています。横につながって生きることの大切さをもう一度認識し、子どもからお年寄りまで、いきいきと安心して暮らせる地域社会をつくりたい。

わが家の防災対策推進事業費 6,631千円
県民の防災意識の高揚を図るため、防災に関する情報を提供することにより、家庭における防災対策を推進します。

地域子育て支援ネットワーク事業費 4,561千円
NPO法人等の活用を図り、子育てを地域で支援するためのネットワークづくりを推進します。

延長保育促進事業費補助金 4,500千円
働きながら安心して子育てできる環境を整備するため、延長保育の実施に対し助成します。

医師確保対策事業費 248,271千円
地域間、診療科間の偏在等による医師不足を解消するため、医師学修資金貸与と制度や地域の病院への医師派遣制度を創設するなど、総合的な取り組みを進めます。

富士・東部地域小児救急医療体制整備事業費 471千円
富士・東部地域における小児救急医療体制の整備を図るため、小児初期救急医療センターの設置等について検討します。



地域子育て支援の取り組み



県立中央病院での研修医の実習

「むすぶ・やまなし」の実現

地域と地域、人と人、人とモノとを結び国際化時代に対応できる交流ネットワークを確立します。高速道路の効果を最大限に活用するため、中央自動車道や中部横断自動車道から県土に交通ネットワークを広げます。

中央線高速化促進事業費 2,568千円
長野県や関係自治体等で構成する期成同盟会を設立し、中央線の高速化を促進します。

山梨県忠清北道姉妹県道締結15周年記念事業費 5,823千円
忠清北道との姉妹県道締結15周年を記念して、友好訪問団の相互派遣等を行います。



県民の足となるJR中央線